

別添4

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)
FNCAの活動方針に関する共同コミュニケ
2021年12月9日採択(於オンライン会議)(仮訳)

我々、FNCA参加国であるオーストラリア連邦、バングラデシュ人民共和国、中華人民共和国、インドネシア共和国、日本、カザフスタン共和国、大韓民国、マレーシア、モンゴル国、フィリピン共和国、タイ王国及びベトナム社会主義共和国の代表は、

積極的なパートナーシップを通じて、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、地域の社会的経済的発展を促進するとともに、加盟国の社会的、経済的充実につながる研究開発、知識と情報の共有及びその蓄積がFNCAの主要な役割と活動目的であることを想起し、

持続可能な農業発展、食物安全、環境に配慮した工業開発、気候変動への影響軽減及び自然生態系の保護の分野における放射線技術の潜在的可能性とFNCAプロジェクトの価値を認め、

2021スタディ・パネルにおける「放射性同位体技術と気候変動科学」の討議を通じて再認識された、加盟国間における環境保護及び気候変動対策強化の必要性を認め、

FNCA放射線治療プロジェクトとそれに付随する子宮頸がん、咽頭がん、乳がんについての臨床研究の進捗、及び放射線治療の先端技術と機器についての産学交流の重要性を認識し、

従事者の高齢化により生じる、原子力科学・技術分野における必要な人材基盤強化と知識の継承の重要性を認識し、

研究炉、及び加盟国の発展に寄与できる中性子放射化分析(NAA)、ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)、中性子ラジオグラフィ(NR)、材料研究及び放射性同位体の生産など、その応用の重要性を認識し、

新型コロナウイルスの世界的蔓延により2020年では停滞したFNCAプロジェクト活動の蔓延収束に合わせた全面的再開を目指して、2021年度以降の活動予定について2021年6月開催の第21回オンラインCDMで合意し、そしてオンラインワークショップ等の開催により、その活動が再開されたことを認め、

IAEAの提唱する原子力技術及び原子力由来技術やIAEAと関連研究機関との国際的な研究ネットワークを活用し、IAEA加盟国における人畜共通感染症対策能力を強化するためのZODIAC事業を開始したIAEAのイニシアティブを歓迎し、

IAEA や OECD/NEA 及びIFNECに代表される原子力関連国際機関、関連組織との連携の重要性を認識し、

農業、工業、医療及び環境分野における FNCA プロジェクト活動の進捗を評価し、FNCAブレイクスルー賞受賞者の際立った功績を称え、

以下に向けて活動する

1. FNCA プロジェクト活動及び各種会合の正常化

FNCA 各国は現環境下、関係する研究者、参加者の安全確保を大前提に、また各国の健康についての規制に従って、新型コロナウイルス蔓延で影響を受けた FNCA の研究活動の正常化と国際会合の通常開催に向けて最大限の努力を継続する。

現環境下、加盟国コーディネーターに対し、オンライン会合といったバーチャル手法を駆使した既存及び新規プロジェクトの推進を要請する。

2. 医療分野でのFNCAとIAEAの将来的連携

新型コロナウイルス感染症を含む人畜共通感染症対策において、既存の事業に重複しない形で、IAEAが FAO やWHO等との他の国際機関との調整を行うことを期待し、将来的にFNCAとIAEAの協力の可能性を探求する。

3. 放射線治療の促進

アジア地域における放射線を利用したがん治療の拡大を継続して促進する。

メンバー国における FNCA 放射線治療プロジェクトを、プロジェクトリーダーの主導の下、2

019年のMLMにおいて確認されたアジア地域のがん治療の強化に取り組むという参加国の方針を踏まえて促進する。

また、革新的な放射線治療技術の進展や普及に向けた取組を関連国際機関との連携等により継続、強化する。

4. 環境保護及び気候変動対策における協力

近年の世界的な異常気象の多発に鑑み、環境保護及び気候変動対策における協力の強化を加盟国に促し、気候変動科学プロジェクト等関係プロジェクトを継続、推進する。

5. 研究炉、加速器の利用拡大

第22回 FNCA 閣僚級会合の円卓会議での研究炉、加速器の利用拡大についての討議に沿って、加盟国間での関連情報共有と設備の相互利用拡大を促進する。

6. 研究成果の普及

放射線育種、放射線加工、研究炉利用、中性子放射化分析及びアイソトープ製造などのプロジェクト技術成果の最終ユーザーによる利用を、社会の福祉、経済へより効果的な貢献ができる商業化の可能性も考慮しながら、加盟国において促進する。

7. パブリック・コミュニケーション及び広報機能の拡大

2022年スタディ・パネルで「原子力科学・技術に対する国民信頼の構築」を採り上げ、信頼構築についての情報、事例を共有し、加盟各国及びアジア地域での原子力科学・技術に対する国民信頼の構築に取り組む。

FNCA のウェブサイト、加盟国でのオープンセミナーやオープンレクチャー等の広報機能の拡大に努力し、IAEA、OECD/NEA 及びIFNECなど関連国際機関との協力関係を強化する。

8. その他促進すべき分野と活動

加盟国全般で優先度の高い、持続的農業の発展と食品安全、環境保護、医療、及び核の安全と保全文化のための基盤開発に関連する原子力科学・技術の応用分野における活動を拡大する。これに際しては、現存の研究開発分野を促進するとともに、加盟国が

幅広く関心を持ち、持続可能な発展に寄与する研究開発の将来的分野を積極的に採択する。

9. 原子力科学・技術分野における人材基盤強化のための協力

各加盟国の必要性や状況に応じ、FNCAのネットワークを活用して大学、研究機関間の組織的な人材交流や人材基盤強化に関する取組の情報交換をWebinarやオンラインでのワークショップ等の開催の手段を活用しながら、促進する。